

第5回

# プロに学ぶ! 売れるための商品パッケージ企画実習講座

自社のパッケージ力をアップしたい

社内でイメージなど感覚的なコンセンサスがうまくとれない

現商品のパッケージを見直していきたいが、デザインの方向性が決まらない

デザイナーと意思疎通を図って、魅力的なパッケージに仕上げていきたい

パッケージデザイン案を絞り込む判断基準や指標を押さえたい



## 過去受講者の声

「すぐに業務で活かせるような内容から、仕事をする上でのモチベーション向上になる講義など、どれも学びの多い時間でした」  
(食品メーカー/30代女性)

「デザインの要素、考えるフロー等、実務で役立つ知識や考えがつかっていったと思いました」  
(化粧品メーカー/30代男性)

「受講者同士でのワークショップなど、プレゼンも本格的に出来て勉強になりました。実際に手を動かしたり、参加型で面白かったです」  
(生活用品メーカー/20代女性)

・・・などを、お考えの方にぜひお薦めしたい講座です。

### 開催日時

2019年 4月17日(水) 4月24日(水)  
5月 8日(水) 5月15日(水)  
5月22日(水) 5月29日(水)  
6月 5日(水)  
16:00~19:00 <全7回>

### 申込方法

当センターWebサイト <http://www.osakadc.jp>  
FAX専用申込み用紙 FAX 06-6615-5573  
お申込み受付後、請求書を発行いたします。

### 締切

2019年4月10日(水)

### 募集定員

16名(定員になり次第締め切ります) ※代理出席可

### 受講料

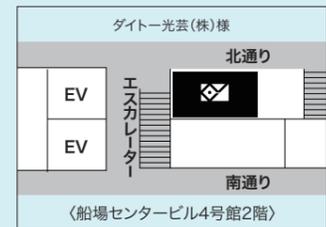
60,000円(税込)  
当センター賛助会員 50,000円(税込)

### 対象

企業の商品企画・デザイン・販売促進部門の担当者・管理者

### 会場

大阪デザインセンター SEMBA  
船場センタービル4号館2階  
大阪市中央区船場中央2-1-4-213



### ACCESS

地下鉄「堺筋本町駅」直結。  
⑧⑨出口に向かう改札を出て左の船場センタービル地下2階から、エレベータで2階へ。

主催・お問合せ 一般財団法人 大阪デザインセンター

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル ITM棟10階 A-1 Mail [odc@osakadc.jp](mailto:odc@osakadc.jp) Tel 06-6615-5571

osaka design center  
一般財団法人大阪デザインセンター

第5回

# プロに学ぶ! 売れるための商品パッケージ企画実習講座



店頭で選ばれるパッケージづくり。

2019

4.17(水)-6.5(水)

16:00-19:00 全7回

会場 大阪デザインセンター SEMBA

主催 一般財団法人大阪デザインセンター (堺筋本町)

<http://www.osakadc.jp>

## プロに学ぶ! 売れるための商品パッケージ企画実習講座 受講申込書 FAX 06-6615-5573

受講者名	フリガナ	会社名
所在地	〒	部署名 役職
TEL FAX		業種
E-mail		

# PACKAGE+COMMUNICATION お店で「コミュニケーションをとるパッケージ」を。

## 第5回 プロに学ぶ! 売れるための 商品パッケージ 企画実習講座

いろいろな競合商品が並ぶ店頭で、購買者に向けて、商品の良さ・魅力やブランドの価値を伝えているのは、まさに商品パッケージであり、その企画やデザインを高めることは、市場競争力を向上させる大変重要な要素です。

「とにかく店頭で商品が売れるパッケージデザインにしたい」という思いを皆様お持ちだと思いますが、単に色や形を良くして売れるものなののでしょうか？  
売れる・売れないの分かれ道は、どこにあるのでしょうか？

それは“デザイン”を差別化のためのスタイリングだけではなく、パッケージを通したコミュニケーションと捉え、商品開発に欠かせない戦略的なツールとして企画することが大きなポイントです。

作り手の目線だけでなく、買い手側の顧客目線や、売場での店頭効果も十分に考慮しなければなりません。

そのためにも、自社でパッケージをつくる、もしくは外部のデザイナーに依頼するにしても、その企画するプロセスや考え方をきちんと理解し、店頭で的確に伝わる商品パッケージに仕上げる必要があります。

本講座では、長年にわたり多種多様な企業の商品パッケージ企画に向き合ってきた実務経験豊富なプロのデザイナーを講師に、基礎知識から、効果的に展開できる企画手法、デザインに取り組む留意点などをグループワークも交え、体感的に修得していただきます。

日時	プログラム	講師プロフィール
4.17(水) 16:00-19:00	パッケージデザイン概論&プロセス ワークショップ パッケージを生み出すというコト	<b>三河内 英樹</b> 株式会社イング アソシエイツ ディレクター パッケージデザイナー。1973年山口県生まれ。1997年大阪芸術大学デザイン学科グラフィックデザインコース卒業。同年株式会社イングアソシエイツに入社。入社当初はDVDなどのデジタル記録メディア、近年は主に食品関係のパッケージデザインを手がけ現在に至る。公益社団法人日本パッケージデザイン協会会員。 
4.24(水) 16:00-19:00	マーケティングの視点から 「中身・パッケージ・価格」のバランス ワークショップ 店頭商品におけるパッケージ評価	<b>坂元 雄二</b> 株式会社スタッフワーク 代表取締役 デザインプロデューサー。鹿児島市生まれ。早稲田大学卒業後、大手食品メーカーで営業・マーケティング・商品開発に従事。1990年に広告プロダクション・株式会社スタッフワークを設立。パッケージやSP(セールスプロモーション)広告のプロデュースを顧客視点で続けている。大阪府立環境農林水産研究所 大阪産(もん)チャレンジ支援事業 デザイン部門委員、大阪府6次産業化プランナー。全国の商工会などでの講師歴多数。 
5.8(水) 16:00-19:00	日用品からギフトまで 「商品ブランディングの勘所」 ワークショップ ブランドづくりのためのコンセプトワーク	<b>山崎 晴司</b> 株式会社TCD 取締役社長 1991年入社。2017年より現職。ブランディングを中心としたトータルクリエイティブを提供するTCDにおいて、主に日用品や医薬品、化粧品、食品のパッケージデザインや製品のプロダクトデザイン開発に長年従事。また近年では、百貨店等における菓子の新ブランド立ち上げなど、ストア・ブランディングも多数手がけ、戦略立案からロゴ、パッケージ、店頭ツール類、ショップデザインまで総合的なデザインプロデュースを行なう。公益社団法人日本パッケージデザイン協会会員。 
5.15(水) 16:00-17:30	記憶に残る“らしさ”のデザイン	<b>細川 華世</b> ホソカワデザイン 代表 アートディレクター/デザイナー。大阪市生まれ、大阪芸術大学デザイン学科卒業。2008年ホソカワデザイン設立。以後、グラフィックデザインを中心に商品開発、パッケージデザイン、CI/VI、広告、カタログ、キャラクターの企画、制作に携わる。主な仕事として、「なんばスカイオ」、「クロスホテル」のCI、銀座あけぼの「味の民藝」、「二十四節花」のパッケージデザイン、「空気ケーキ」、「パトリエアクモリ」、「パーティールランド」のブランディング。 
17:30-19:00	大型量販店が求めるパッケージの秘密	<b>中村 拓哉</b> グラフィックパワー株式会社 代表取締役社長 グラフィックデザイナー。堺の文化人の岡村筈に師事しデザインの本質を学ぶ。アートディレクターを経て、2004年Graphicpowerを設立。通天閣ロボプロデュース(2010)、日本パッケージデザイン大賞金賞・銀賞(2011)、銅賞(2013)、小山薫堂「東京会議」デザインコンペ入賞。大型家電量販店でのアピールできるパッケージプロモーションを研究。公益社団法人日本パッケージデザイン協会会員。 
5.22(水) 16:00-17:30	女性目線でわかりやすく伝える パッケージの技術 ワークショップ キャッチコピーを含めたラフ案をつくる	<b>大力 千津子</b> 株式会社イング アソシエイツ ディレクター パッケージデザイナー。1987年に株式会社イングアソシエイツ入社。2013年パッケージデザイン大賞 電気機器・関連商品部門金賞受賞。 化粧品や下着、家庭用品など女性のための商品に長年関わり、生活者としての感覚を大切に、メーカーの思いをわかりやすく伝えることをモットーにデザインしている。公益社団法人日本パッケージデザイン協会会員。 
17:30-19:00	包む〜パッケージの原点 素材を活かし、コストを配慮したデザイン ワークショップ 折り型による日本の包み	<b>横川 三希子</b> 丸廣紙業株式会社 企画デザイン室 顧問 東京生まれ。1980年より、パッケージデザイナー、イラストレーター、カリグラファーに加え、オブジェ、アートフラワー、作陶の活動を開始。1985年総合デザイン事務所 希夢工房設立(フリーランス活動開始)。1990年丸廣紙業株式会社(公益社団法人日本パッケージデザイン協会法人会員)企画デザイン室顧問及びフリーデザイナーとして参加、現在に至る。伝統産業の老舗名店や地域土産商品の商品開発に関わり、地場産業賞受賞数回。 
5.29(水) 16:00-17:30	物語をパッケージするというコト	<b>大崎 淳治</b> 大崎事務所 代表 アートディレクター、グラフィックデザイナー。1999年大崎事務所設立、ブランディングを中心にCI、VI、BI、ロゴ、パッケージ、サインデザイン等、活動は多岐にわたる。近年は、ニフレル(expo city):VI、あべのハルカス展望台/ハルカス300:VI、東大阪市文化創造館:VI、大阪弁護士会:VI、北おおさか信金:VI、2016年CSデザイン賞優秀賞。公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会会員。 
17:30-19:00	感じるパッケージの色、カタチ、素材 〜海外のパッケージ研究〜 ワークショップ パッケージ持ち寄りミーティング 日本と海外パッケージ比較レポート	<b>三原 美奈子</b> 三原美奈子デザイン 代表 奈良市出身。京都精華大学美術学部デザイン学科VCD専攻卒業後、デザイン事務所を経て2010年三原美奈子デザインを設立。各種食品・コスメなどのパッケージデザインを数多く手掛ける一方、展覧会や講演・ワークショップでパッケージを一般に広める活動も積極的に行っている。パッケージデザイナー集団・パケクション主宰。京都造形芸術大学非常勤講師。公益社団法人日本パッケージデザイン協会理事。 
6.5(水) 16:00-19:00	パッケージデザインの売れる仕掛け かしいパッケージデザイン発注の仕方 ワークショップ 企画書作成&プレゼンテーション	<b>松尾 政明</b> 株式会社サンデザインアソシエーツ 代表取締役社長 パッケージプロデューサー。1965年兵庫県生まれ。1985年大阪芸術大学デザイン学科入学、マーケティング専攻。1989年ナウシステムデザインに入社。洋菓子を中心としたパッケージデザインに携わる。1991年株式会社サンデザインアソシエーツに入社。一般食品、菓子、酒類等の食品関連のパッケージデザインや商品企画を中心に、日用雑貨、化粧品など非食品も手がける。公益社団法人日本パッケージデザイン協会会員。 